

# 子ども<sup>ら</sup>の森通信

第 13 号

2016 年 6 月発行

子どもの森通信 13 号 The kodomonomori Environmental preservation Non Profit Organezation

四季をまるごと体験 eco スクール …… 2～5  
野草をいただく …… 7  
森の学舎・topics …… 10

豊かな森づくり活動 …… 6  
環境プログラム …… 8～9  
28 年度活動予定 …… 12

# 四季をまるごと体験ecoスクール

## ①開校式/ネイチャーゲーム体験/麦刈り作業

2015年5月17日



私たちの住んでいる地域の環境は、ここ40、50年で激的な変化が起っています。山は切り開かれ宅地造成が進んで、子どもたちのすぐ近くなり遊び場であった里山がなくなりました。水遊びができた川や海は遊泳ができないほど汚れてしまいました。

ecoスクールでは、地域の小学生とその保護者を対象に、四季を通じた自然体験や農業体験から自然の大切さを理解し、将来の自然環境を守り手に育ってもらえるような環境教室を開催しています。



ネイチャーゲーム指導：フェニックス宮崎シェアリングネイチャーの会

第4期生が育てた小麦を5期生が刈りとります

横山理事長から、「この1年間でいろいろな体験を通して、自然環境を深く考え学んでください。」とあいさつがありました。その後、年間の計画概要と今日の活動内容や注意事項等の話があり、第五期四季をまるごと体験ecoスクールがスタートしました。

## ③環境学習・ダンボールコンポスト作り・スクール旗づくり 6月21日



環境学習は、樹木の二酸化炭素吸収量測定です。樹高測定器を使って、森の学舎にある木の高さや幹周りを測り、葉の全表面積を算出。木がCO2をどれ位吸収しているかを計算し、人の呼吸で排出されるCO2と家庭で使用する電力量から排出される二酸化炭素を何本の木で吸収しているかを比べました。



自宅で生ゴミを堆肥にし、麦畑に使用します 指導：宮崎県ダンボールコンポストネットワーク川支所

## ②麦の脱穀&籾摺り/大豆の種蒔き 5月31日



大豆の種蒔き作業。大豆は秋に収穫して塩作りで作られるニガリを利用して豆腐を作ります。

足踏み脱穀機と千歯すきでの麦穂の外し方の説明後、脱穀機2台と千歯すき1台を使っての作業を交代で行っていきます。スクール生は、足踏み脱穀機と千歯すきを見るのも使うのも初めて、脱穀機のドラムが回転したり、千歯すきでは穂が全部ちぎれたり最初は大変苦勞していました。

自然体験や農業体験から自然の大切さを学び  
パン作りを通して、環境と食を考える体験活動で



④竹イカダ作り

7月12日



角材 90 cmを2本、100 cmを2本切り、木ネジでつなげたフレームを組み立てました。

竹林整備で山から伐採した竹をイカダに使用する本数切っていきます。切った竹をフレームに並べ紐でつなげ、浮力材のペットボトルをつけて完成です。



竹はのこぎりを使って160cmの長さに切りました。

⑥海水で塩づくり

9月6日



門川沖で汲んできた海水を使っての塩づくりです。今回は、海水を10ℓずつ使って、釜戸2口と簡易釜戸3個で塩づくりをしました。10ℓの海水を1ℓまで煮詰めていきます。ろ過していき760ℓと、710ccのニガリを採取できました。塩は、パン生地に使い、ニガリは豆腐作りで使用します。



ろ過した(760ℓ)海水を再び煮詰め塩を析出させます。

⑤竹イカダで川の清掃活動/川の生き物調査

7月26日



イカダを川に降ろしていきます。

今回は、県民共済 CM として、UMK 撮影クルーによる取材がおこなわれ、スクール生数名と横山理事長にインタビューもありました。



台風の影響で雨が降ったり止んだりの天気でしたが、河川の水量も多くなかったので、活動を開催することができました。前回の eco スクールで作成した6艘の竹イカダと2艘のゴムボートで河川清掃をしていきます。途中、バランスを崩して転覆するイカダもありましたが、無事、清掃活動をおこなっていききました。イカダで使用した竹は、粉碎机でチップと粉にして麦畑にまきます。午後からは、魚や川虫を探して、川がきれいであることを確認し、川を大事にしなくてはならないことを学びます。箱メガネで川を覗き網で生き物を探って、カードで名前を調べました。





7 昆虫観察/大豆選別作業/どんぐりクッキー作り

10月12日



講師：新開孝さん（昆虫写真家）  
昆虫写真家の新開孝さんの案内で、森の学舎グラウンドに住んでいる様々な昆虫を探し説明をしてもらいました。昆虫が苦手なスクール生もいましたが、トンボの催眠術等の実験も含めた楽しい観察会となりました。昆虫も含めた生命で満ち溢れた自然を再確認できました。観察確認できた昆虫：ハムフリ、ヒメジャノメ、オンブバッタ、クワダシヤク、ヤマトシリアゲ、エンマコウロギ、ツチイナゴ、コムシジチョウ、アオスジアゲハ、ヒメアカネ、キタキチョウ、ヒシバツタ、ホシササキル、ツツシサセコウロギ、クサキリバッタ、コカマキル、ウスバキトンボ、ショウジョウバッタ、オナガササキル、ヤチスズ、ジョウロクモ、クワコ、ハネナガヒンバッタ、ミツガドコウロギ、クサヒバリ、アシナガムシヒキ、ウメウラジャノメ、ツマゴロウウヨコバイ、ミホンミツバチ、オオシロカメムシ、イチモンジチョウ幼虫、キロスズメバチ、コイチャコガネ 他

午後からは、収穫していた大豆の選別作業。ドングリクッキーづくりを行いました。生地をクッキーの形にして、砕いたドングリをまぶして、石釜で焼きあげました。ドングリが食べられることを知り自然の恩恵を考えました。

8 豆腐づくり/野外炊飯/麦畑草取り作業 11月1日



ecoスクールでは初となる豆腐作りに挑戦。

麦刈後の畑で育て収穫した大豆を使った豆腐作りを予定していましたが、収穫量が347gのため、来年度のecoスクールで使用する大豆種にすることにして、別途用意した大豆とニガリ（塩づくりで採取）を使って豆腐を作りました。野外炊飯は、地区の販売所で購入した自然薯他野菜を調理していきました。



お昼用に釜戸でご飯炊きをしました。

9 麦畑耕うん作業/麦の種蒔き 11月15日



耕うん機は、スクール生全員で交代しながらおこないました。

まずは20分間、畑の石を全員で拾っていきました。その後、ダンボールコンポスト堆肥とグラウンドから運び出した堆肥土も畑に播き、熊手で広げ耕うん機、鍬で畑に混ぜ込む作業をしていきました。今回は、50cm間隔に26列にし1列に約30gの麦を播いていきました。



皆で一斉に種蒔き用の印づけ作業。

10 イチゴ狩り/イチゴ酵母づくり/石臼で小麦挽き

2016年2月21日



5月に麦刈して脱穀した小麦を、4基の石臼で挽きました。挽いた小麦の量は約4kg、できた小麦粉は約1.7kgでした。全員が初めての石臼挽きで最初は上手くできませんでしたが、2時間かけて小麦挽きをしたので、最後はずいぶんと上手に小麦の石臼挽きができるようになりました。



小麦を少しずつ石臼に入れて挽いてきます。

森の学舎近くの松田農園で、酵母作りのための苺を収穫させてもらいました。今日の苺収穫は、酵母で使用するために4kgを持ち帰り、農園では苺食べ放題でした。松田農園への行帰りの道では、ゴミ拾いをして地域の清掃活動も兼ねました。



苺、砂糖、水をビンに詰め、自宅で酵母を育てます。

11 パンづくり/文集作成/閉校式

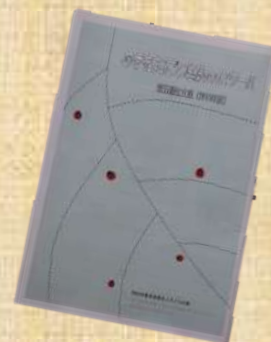
2016年3月5日

今までの活動で作った材料を使ってパンづくり



ecoスクール最終回は、パンづくりに時間がかかるためいつもより1時間早く集合しました。

《バターづくり》  
パン生地に使用するためのバター作りです。牛乳とクリームを1対1で作りました。  
《パン生地づくり(一次発酵)》  
2月に石臼で挽いた小麦粉とイチゴ酵母、9月に作った塩、今日のバター、砂糖を使って生地を作り、薪ストーブの周りで一次発酵をすすめます。



《パン焼き》  
二次発酵が終わったグループから順次パン焼きしていきます。そして、焼きたてのパンは試食していただきました。  
《修了式》  
横山理事長からひとりひとりに修了証を手渡ししていただきました。



《文集書き》  
パン発酵の間には、文集書きをおこないました。

◆妖精の森

手入れがされず放置されている竹林を、子どもが入り遊ぶことができる広葉樹の林に再生し、人や動植物にやさしい自然環境と水源かん養や災害の防止など森林の公益的機能の維持増進を図るために、平成21年度から継続して竹の伐採を続けています。

森林づくり

自然を守りしっかり育てる

- ◆子どもの森一号地
- ◆GOCAN(五感)の森
- ◆妖精の森

◆子どもの森一号地

2004年から取り組んでいる地球温暖化防止と荒れた森林の保全を目的として、杉間伐地の私有地に広葉樹を植樹、杉と広葉樹の複層林となっています。

2006年から台風で植林された杉が流された門川高等学校演習林の自然環境の復元を図り、水源の涵養や災害防止など森林の公益的機能の再生のため植樹、整備を行っています。

◆GOCAN(五感)の森

伐採竹は、粉碎機でチップにして堆肥作りを兼ねて森の学舎グラウンドの一部に散布しました。また、伐採した竹で棚を作り、棚に倒竹や竹笹部分を積んでいます。その他に、四季をまるごと体験e.c.oスクールでの竹イカダ、一昨年度から販売している竹炭・竹チップ・竹パウダーにも伐採した竹を活用しています。



炭焼き窯で出来上がった販売用「竹炭」、粉碎機で出来た「竹チップ」「竹粉」の売上金は、森づくりのために活用されます。



「みやざき森づくりボランティア協議会」加盟団体としての活動

森づくり研修会

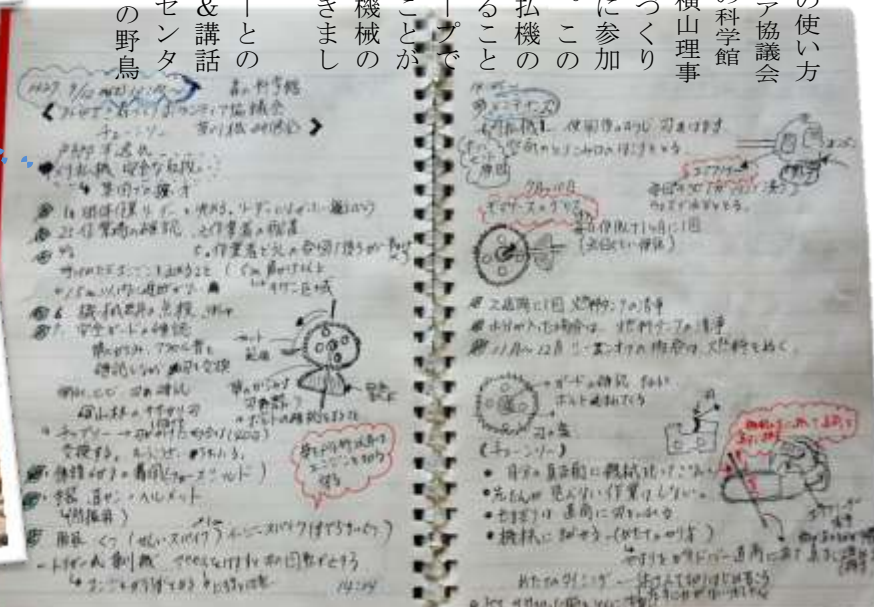
研修会名・チエーンソー&刈払機の使い方  
主 催…みやざき森づくりボランティア協議会  
場 所…宮崎県林業技術センター内森の科学館  
参加者…横山理事長、井澤理事、横山理事

子どもの森が加盟している森づくり団体の協議会が主催した研修会に参加しました。講師は、戸郷洋逸氏。この研修会で、チエーンソーより刈払機の方が、事故が多く重大事故になることを知ることができました。グループでの刈払機作業の危険性を感じることができました。そして、改めて、機械のメンテナンスの大切さも実感できました。

夜は、他の加盟団体のメンバーとの交流会。翌朝は、野鳥の観察会&講話（講師…猪崎悦子氏）でした。センター周辺を2時間ほど観察し20種の野鳥を確認することができました。



横山理事研修メモ



宮崎県内の森づくり団体が集まって、情報交換や森づくりの研修・技能を学んでいます。また、一般の方への普及活動も行っています。子どもの森は、2005年に加盟し、現在22団体が所属しています。

## 総会&お楽しみ会

～筍・摘み草を食べよう～

2015年  
4月29日



子どもの森の27年度活動方針を決めるための第15回通常総会を開催しました。  
総会終了後は、会員、一般参加者を含めてのお楽しみ会昼食会を開催。野草摘み、竹林整備を兼ねたタケノコ掘りも行いました。  
メニューは、釜戸炊飯、

タケノコは天ぷら。野草は、かき揚げ&餃子です。参加者全員で調理していただきました。今回のお楽しみ会は、初の試みFacebookにて会員外の参加を促し、29名の参加がありました。子ども達の参加も多く、にぎやかなお楽しみ会となりました。

### ◆取材・出演◆

- ◇わいWa iTV  
四季をまるごと体験e c o s k o o l  
開校式・ネイチャーゲーム  
2015年5月21日放送
- ◇MRTラジオ「エ・コ・コロカフェ」  
森で過ごそう!森に学ぼう!  
2015年12月12日放送
- ◇UMK(全労済CM)  
四季をまるごと体験e c o s k o o l  
「イカダ作りと河川清掃」  
川をたのしく親しもう  
2015年8月に2回放送

### 小麦について

シリーズ

5

#### △ギふみ

△ギふみをしないと、しも柱ができたときに、しもで土がもちあがり、△ギの根を傷めたりしてしまふ。それから、踏まれることで茎がたくさんわかれたり、根がつよくなって、春にぐんぐん育つ。△ギの株のまうえから、足で力二の横歩きみたいにしてふむか、25<sup>センチ</sup>くらいのローラーをころがしていく。年内に1〜2回、年があけてから2回ぐらいももう。茎が立ちはじめたらふんではいけないよ。

#### △ギの刈り方と時期

日本の△ギの刈りとりは、ちょうど梅雨入りまえになる。△ギの穂が色づきはじめたら、天気予報をみて、刈り入れ時期を決めよう。雨で刈りとりがおけると、実が穂についたまま芽をだしてしまうので、注意しよう。雨がつついたときは、晴れ間をまっつ、△ギがかわいたときに、いっせいに刈りとりをしよう。

\*下葉が枯れあがって、全体に黄金色になったら収穫の時期です。

#### 乾燥

イネのように、なわか麻ひもでたばねて、雨のあたらない風とおしのよいところにほしておこう。

豊協：公の絵本よ

**環境プログラム** これからの時代を担う子どもたちに、良質な自然環境を残すためには、体験型の環境教育は、重要なかぎとなるはずですが。森の中等での自然体験活動にこだわり、楽しみながら遊びながら、結果よりプロセスを重視して、環境について考えてもらう工夫をした催しを開催しています。

## 川をたのしく親しもう



2015年8月2日

参加者：9家族29人（内幼児9人） スタッフ：7人

ネイチャーゲーム講師：フェニックス宮崎シェアリングネイチャーの会  
 かれたキラキラ光る物・川の天使（川虫）・テナガエビ他を探していきます。「ささ舟どおり」は、笹で作った舟をゲートに向けて川上から流します。「川の音を聞く」は、ホースで川の水の流れの音を聞きます。「魚探し」は、箱メガネで水中を覗き魚を観察します。途中記念撮影をして、「アメンボの旅」を行ないました。「アメンボの旅」は、両手両足を広げ川の流れに身体をまかせます。いずれも川にたのしく親しむためです。川を好きになり、川を大事に思う気持ちを育みます。

川の活動後は、子どもたちはそうめん流し用竹レールには太すぎる竹を使ってお椀を作りました。子どもたちがのこぎりで切るには太すぎる竹でしたが、がんばって自分のお椀を作っていました。

一週間前までは、台風の影響で雨も多く降っており、水量はやや多めでしたが水のきれいな五十鈴川での活動を皆さん楽しんでくれました。

“川をたのしく親しもう”は、五十鈴川で開催をはじめ7年目となります。この活動は、ネイチャーゲームで、自然をさまざまな感覚や心を通じて理解し、自然と自分が一体であることを学び、川あそびをとおして自然の豊かさを楽しみ、自然の大切さを学ぶ活動です。

オリエンテーションでは、横山理事長あいさつで、川のきれいな水とそれを生み出している森林の大切さの話がありました。事務局より、暑さ対策やけがについて等活動時の注意事項、フローティングベスト着用の仕方、スタッフとネイチャーゲームリーダーの紹介をおこないました。

最初にジャブジャブ体操で水にちょっとだけ親しんで、好みの小石を河原で探します。それぞれ見つけた小石を紹介して行きました。河原には、まったく同じ形、大きさの石がありません。家族毎に4班に分かれて、「川の宝物探し」「ささ舟どおり」「川の音を聞く」「魚探し」を行ないました。「川の宝探し」は、カードに描か



## 森で過ごそう！森に学ぼう！

2015年12月6日

参加者：6家族20人（内幼児4人） スタッフ：4人

この体験型環境学習は、樹木の二酸化炭素吸収量学習、ドングリ苗木のポットづくり、ドングリを使った工作を通して、自然の豊かさを楽しみ自然の大切さを学びます。

### ■環境学習（樹木の二酸化炭素吸収量の測定）

教室で樹木の高さの測定方法と、測定する樹木の名前を確認しました。今回測定する樹木は、「センダン」「イヌマキ」「サクラ」「モチノキ」です。樹木の二酸化炭素吸収量の計算をして、人間一人が呼吸で吐き出す二酸化炭素を吸収と、家庭で使う電気を発電する際に排出される二酸化炭素を吸収するのに調べた樹木が何本必要なのかを求めます。

### ■炙り焼きソーセージ作り

炙り焼きソーセージと釜戸でのご飯炊きを参加者全

員で行いました。今回は、ソーセージを炙るコンロを広く作っていたので、予定通り12時には昼食をとることができました。

### ■ドングリ苗づくり

ドングリは、「シリブカガシ」「クヌギ」「マテバシイ」「イチイガシ」「ナラガシワ」の5種類です。それぞれ好きなドングリを選び2～3個を竹ポットに植えます。芽が出て2～3年経って苗木になったら森の学舎に持ってきて山へ植樹します。

### ■ネイチャークラフト

いろんな種類の自然素材とホットボンドを使って思い思いの作品を作っていました。





オリエンテーションでは、「ヘビが目覚めています、こちらが自然の中にお邪魔する気持ちを持ちましょう。野草は食べる分だけ摘みましょう」と横山理事長のあいさつからはじまりました。その後、成迫平五郎さんによる野草の話、事務局からの注意と連絡事項があり、食べることができる野草探しに出発しました。

最初の野草収穫は、森の学舎のグラウンドです。成迫さんの案内で、森の学舎の周辺で食べることができる野草を探し紹介していきます。参加者は、野草を少しずつ食べられる量を収穫していきまました。収穫した野草は、種類ごとに分けて名前を覚えていきます。

今回の野草の料理は、かき揚げ、天ぷら、あえ物、餃子

の4種類を作りました。他に、野草ピザと釜戸での羽釜炊飯をしました。参加者(大人の参加者中心)で、各々好きな役割に分かれて調理をいきました。子どもたちは、餃子作りとピザ作りを手伝ってくれました。毎回のことですが、野菜が嫌いで食べない子どもさんが、野草料理を美味しく食べていました。

### \*\*\*摘んだ野草たち\*\*\*

ウバユリ(球根)、ウシハコベラ、オオバコ、スマレ、スイバ、コバギボウシ、ドクダミ、レンゲソウ、カキドオシ、ヤブカンゾウ、ヨメナ、ヨモギ、ミツバ、ハコベ、フキ、スズメノエンドウ、カラスノエンドウ、アケビ、セリ、アザミ、ノゲシ、ツクシ、ノビル、リョウブ、カスマグサなど



## 環境プログラム参加者の感想(一部抜粋)

### 川をたのしむ親子

・子供と川へ行こうと思えますが怖くてなかなか行けず、ニュースで怖いことばかりなので。初めて楽しめました。自然の中で、思いきりふれ合えて大人も楽しめました。スタッフさん、ありがとうございます。たのしみでも美味しかったです。ありがとうございます。

・今年で3回目の参加ですが、毎回とても楽しく参加させてもらってます。お魚探し、川虫探し、アメンボになるう等、どれも子供が目を輝かせて、すごく楽しんでいました。他にはない、このような活動を子供にさせてあげられることができ、とてもありがたう思っています。本当に楽しい活動でありがとうございました。

・魚がいつばいいました。また来年も来たいです。

・川を捕まえる達人って言われたよ。竹の器を作るのが楽しかった。川流れば2回したよ。楽しかった。

・天気にも恵まれ自然と美味しいものを満喫でき、楽しい時間を過ごすことができました。また参加したいです。ありがとうございます。

・川あそびは童心に戻れて楽しかったです。息子はまだまだ川が怖いみたいでアメンボはできませんでしたが、来年こそはできるように、お風呂で訓練してこようと思えます。

・春のタケノコ採りに続き楽しく参加させていたいただきました。ネイチャーゲームや川流れ、流しそめん、竹の器作り等、初めてのことばかりで、とても楽しかったです。

### 森で過ごす親子

・木の高さや幹の周りを測ることをしたことがなかったもので、とても面白い体験でした。ドングリも拾うばかりで育てることをしたことがないので、芽がでるか楽しみです。自然は大切ですね。炙り焼きソーセージ、とても美味しかったです。

・一日あつという間でした。自然に囲まれ、ホッとする環境の中で、心のエネルギーをたくさん蓄えることができました。子供とゆつくり過ごす時間がとれて、とても嬉し

かったです。また参加させていただきます。準備や計画等、大変だったと思います。ありがとうございます。

・いつも楽しい体験をさせて頂き、ありがとうございます。1本の木が、どれ位空気をきれいにしようとしてくれていたことが分かり良かったです。ドングリ工作もたくさんさんの素材があり、ほんとうに楽しかったです。

・環境学習からドングリ工作まで、とても分かりやすく楽しみなが学ぶことができました。ソーセージ作りも良かったです。また参加したいと思えます。苗木育てががんばります。

### 春をたのしもう

・野菜を食べない長女が、野草餃子をパクパク食べていたのにビックリしました。初めて自分で作ったピザが焼けたのを、とても嬉しそうに見ている姿が満足そうでした。スタッフの皆さんや参加された皆さんが、とても優しく癒されました。

・食べれる野草、毒草を教えてください。山菜が好きなので、四季折々楽しみながら野山をかけまわっています。

・楽しくて、たくさん草の名前が知れて食べられて、とても嬉しかったです。

・初めて食べる野草ばかりで、とても新鮮で美味しかったです。子どもたちは、ふだん加工食品が多いので、自然の味はどうだろうと思っただけ、とても喜んで食べてビックリしました。

・身近な野草が簡単に収穫できて、調理も簡単。でも、とても美味しく良かったです。楽しかったです。

・二度目の参加でしたが、なかなか野草の見分けができませんでした。でも、今回もとても楽しく野草の収穫ができました。

・山菜野草を採り昼食で食べて、とても美味しかったです。自然の大切さを感じる事ができました。次回も参加したいです。

・セリとヨモギの見分けができるようになりました。

## 学舎の開放



### 門川町教育振興研究会 2015年11月2日

門川町教育振興研究会による子供たちへの五感で感じる自然体験がおこなわれました。プログラムは、ネイチャーゲーム〈生き物絵合わせ〉〈フィールドビンゴ〉と釜戸を使っての豚汁作りの体験です。ネイチャーゲームは、フェニックス宮崎シャアリングネイチャーの会の3名のリーダーさんの指導で行われました。子どもの森は、森の学舎の開放と簡易釜戸の貸与で協力をしました。

もりのまなびや

# 森の学舎

WELCOME

080-2696-5180

<http://www.kodomonomorinfo>

旧西門川小学校松瀬分校を活用している森の学舎。環境プログラムの開催と環境文庫の常設をしています。また、団体への施設開放、自然体験活動の受け入れもおこなっています。



### 志布志からの視察 2015年11月5日

森の学舎に鹿児島県志布志市役所企画政策課の方々、民生委員さん、地域おこし協力隊の方々総勢18名の視察研修訪問がありました。

志布志市では、中学校2校、小学校1校の廃校活用を検討されているようです。子どもの森の活動、経緯などをお話し、学舎を見学していただきました。

### クラスレクリエーション

2015年10月24日

森の学舎で、五十鈴小学校4年2組のクラスレクリエーションが行なわれました。普段何気なく見逃している自然を身近に感じてもらうためのネイチャーゲーム（動物ヒントリレーとフィールドビンゴ）、自然が提供してくれる素材を使ってのネイチャークラフトで、お昼まで楽しみました。子どもと保護者あわせて57人が森の学舎に来てくれました。

## topics

ゲットライフアワード 主催：環境省

2015年12月11日

子どもの森の活動のひとつである

環境プログラム“四季をまるごと体験

エコスクール”の取組がゲットライフ

アワード審査委員「環境と学び」特

別賞を受賞しました。

「環境省第3回ゲットライフアワ

ード シンポジウム&表彰式」におい

て、環境大臣賞を受賞した10件（応募

総数155件）の取り組み以外に実行

委員会が高く評価された22件の取り

組みを、実行委員会特別賞として選定

されました。

横山純子理事が、東京ビックサイトで

行われた表彰式に参加しました。



今年のGWも、森の学舎の整備等、環境プログラムの準備等を行いました。

8月には、台風の影響をうけた屋根の応急処置に会員3人が緊急に集合。午前中は、壊れた平瓦23枚、角瓦5枚を屋根から下ろし、ずれた瓦を並べ替え、ブルーシートを砂袋と煉瓦で抑え応急処置。午後は、折れた枝を薪サイズに切断して、乾燥させるために平積みしました。折れた枝は、冬場で使用するストーブの薪にします。

シルバークイックの休みを利用して、7月に竹屋根を施工した2号風呂の改修は、細かい部分が残っているものの、ほぼ終わりました。他に、ecoスクールでの大豆収穫予定日には、収穫が間に合わないため大豆の収穫も行ないました。



### 2号五右衛門風呂改修

2015年9月19日~22日、25日~26日

外壁以外にも、風呂釜へ入るために石階段兼腰掛と洗い場と脱衣場の床(スノコですが)、ドアの設置、脱衣置き棚も作りました。



### 薪小屋製作

2015年5月1日~6日

石窯を使用するたび、学舎の軒下から薪を運んでいたのが、窯横に薪置場(簡易な薪小屋)を設置することにしました。



### 管理棟整備

2015年5月1日~6日

管理棟のタイル製流し周りに、整理棚等設置して模様替えを行いました。



### 草刈り

2015年6月13日

雨の中、梅雨の森の学舎の草刈りを実施しました。熊本から手伝いが来てくれて、キボウシ・ホトトギス・ヤブカンゾウ等の植物は残しながら何とか校舎周辺の草刈りが終わりました。グラウンドはイノシシにより掘り返されている箇所が多くあって、穴を埋め戻すことで手いっぱい、グラウンドの草刈りは次回に持ち越しとなりました。



### 2号五右衛門風呂竹屋根の準備

2015年7月20日

学舎にキャンプ宿泊している会員の子どもさんも竹割と竹の節取り作業を手伝ってくれました。



台風15号が最も接近した8月25日に、暴風により森の学舎の正門のすぐ横にあるセندانの40cm近い大枝が折れ管理棟を直撃。瓦が30枚ほど割れ、室内は雨漏りがひどく、ブルーシートをかきかけるだけの簡単な処置しかできませんでした。

- \* 宮崎県森林づくり活動支援事業（宮崎県森林環境税）  
森で過ごそう！森に学ぼう！
- \* 国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」  
四季をまるごと体験 eco スクール  
川をたのしく親しもう
- \* イオン黄色いレシート  
イオン各店での黄色いレシートキャンペーン箱に投函されたレシート金額の1%相当額の物品が活動全般に寄贈されます。
- \* ろうきんNPO寄付（九州労働金庫）  
労働金の預金者が応援したいNPO法人へ、希望する額を、希望する日に、預金口座から寄付団体の口座に自動振替する制度です。1回の寄付額は、100円以上（100円単位）です。お二人の方から寄付がありました。
- \* プルデンシャル生命保険株式会社による寄附
- \* 個人による寄附

ありがとうございます

2016 年度 活動 予定

月	予定/実施日	活動名	場所
4	3(日)	春を楽しもう「野草収穫・料理」	森の学舎
	29(金)祝	通常総会	森の学舎
	30(土)	森の学舎整備	森の学舎
5	3~7	森の学舎整備	森の学舎
	22(日)	eco スクール「開校、ネイチャーゲーム、麦刈り」	森の学舎
	29(日)	eco スクール「脱穀作業」	森の学舎
6	19(日)	森づくりボランティア総会	高千穂町
	25(土)	森の学舎整備「草刈り」	森の学舎
	26(日)	森の学舎整備「草刈り」	森の学舎
7	2(土)	竹林整備	妖精の森
	9(土)	eco スクール準備	森の学舎
	10(日)	eco スクール「イカダづくり」	森の学舎
	23(土)	森の学舎整備	森の学舎
	30(土)	川をたのしく親しもう準備	森の学舎
8	31(日)	川をたのしく親しもう「ネイチャーゲーム、ミニコンサート、麦刈り」	五十鈴川
	6(土)	eco スクール準備	森の学舎
	7(日)	eco スクール「イカダで川の清掃活動」	五十鈴川
9	27(土)	森の学舎整備	森の学舎
	10(土)	竹林整備	妖精の森
10	1(土)	eco スクール準備	森の学舎
	2(日)	森の学舎整備「草刈り」	森の学舎
	16(日)	eco スクール「塩づくり」	森の学舎
	22(土)	竹林整備	妖精の森
	29(土)	ビオトープづくり	森の学舎
11	5(土)	竹林整備	妖精の森
	12(土)	ビオトープづくり	森の学舎
	19(土)	eco スクール準備	森の学舎
	20(日)	eco スクール「畑づくり、麦の種蒔き」	森の学舎
	27(日)	木と遊ぼう木に学ぼう準備	森の学舎
12	4(日)	木と遊ぼう木に学ぼう「樹木の学習、ドングリづくり、ネイチャーアート」	森の学舎
	17(土)	ビオトープづくり	森の学舎
1	28(土)	竹伐採	妖精の森
	19(日)	eco スクール「小麦挽き、環境学習」	森の学舎
2	25(土)	竹伐採	妖精の森
	5(日)	eco スクール「パン作り・開放式」	森の学舎
3	11(土)	竹伐採	妖精の森
	20(月)振	春の野草を楽しもう準備	森の学舎
	26(日)	春の野草を楽しもう「野草収穫・料理」	森の学舎
4	15(土)	竹林整備	森の学舎
	22(土)	ビオトープづくり	森の学舎
	29(土)祝	通常総会	森の学舎

\*\*\*\*\* なかま大募集 \*\*\*\*\*

子どもの森では、一緒に活動を支えてくださる方を随時募集中です。  
なかまが増えれば、もっと多くの充実した活動ができます。あなたの持っている力を、子どもの森の活動に活かしてみませんか。  
■正会員になると  
総会等へ議決権を持って参加し意見を述べ、子どもの森の活動に反映させていきます。理事等に立候補でき、総会で承認されれば、子どもの森の運営に、直接たずさわることが出来ます。

年会費5,000円

編集後記

平成12年に休校になった西門川小学校松瀬分校（1896年開校）跡を子どもの森の活動拠点として今年で10年目をむかえます。森の学舎は、沢山の方の協力、支援で活動拠点として活用できております。  
平成28年10月から、新活動として自然環境研究を兼ねたビオトープづくりに取り組むことになりました。ビオトープは、ミニ田んぼ・水路・池とつながった一連の水辺環境とし自然の復元力を観察していきます。  
今年度もどうぞよろしくお願いたします。



表紙写真



平成28年5月撮影（門川町）

【属名】 尻深樫（シリブカガシ）  
【樹形】 ブナ科マテバシイ属 常緑高木  
【分布】 暖帯性であり、近畿地方以西の本州、四国、九州、沖縄の比較的海岸に近い標高0-1000m以下の地域に分布し、京都府の保津峡が分布北限である。京都府以北に近畿地方の個体数はごく少ない。日本に自生するマテバシイ属2種（シリブカガシとマテバシイ）のうちの1種。和名はドングリの底（お椀状の殻斗を被っていた部分）が凹んでいることに由来する。なお、カームと呼ばれることもある。



子どもの森通信 第13号

発行・編集：特定非営利活動法人子どもの森広報委員会 〒889-0604 宮崎県東臼杵郡門川町大字川内イカダ場 3412 番地 1  
TEL：0982-95-7800 FAX：0982-63-0009 Mail:office09@kodomonomori.info  
http://www.kodomonomori.info



https://facebook.com/npo.kodomonomori